

西暦 2022年8月 / 日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究に対して当センターで保有する既存試料・情報を提供しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

記

提供元責任者 氏名・所属部署	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 萩原 真一郎 消化器・内分泌科
研究課題名	急性膵炎・慢性膵炎・自己免疫性膵炎の全国調査 一次調査
研究代表者 氏名・所属機関	正宗 淳 東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	当センターで2021年1月1日から2021年12月31日までに、急性膵炎、慢性膵炎、早期慢性膵炎または自己免疫性膵炎と診断・受療された患者
研究期間	2021年4月27日～2022年3月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	<p>本邦では、急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎の全国調査が数年ごとに実施されてきた。厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業難治性膵疾患に関する調査研究班により実施されてきたが、その後、調査の実施は日本膵臓学会に引き継がれている。</p> <p>前回の全国調査によれば、急性膵炎は2016年1年間の受療患者数は78,450人と推定され、患者数は増加傾向にある。重症例は23.6%を占め、重症例の致命率は6.1%と報告されており、更なる予後の改善が期待されている。</p> <p>慢性膵炎は2016年1年間の受療患者数は56,520人と推定されている。難治性の腹痛・背部痛、糖尿病、消化不良を来す疾患であり、患者のQOLは著しく障害される。様々な診断法や治療法が開発されてはいるが、更なる成績の向上が必要である。</p> <p>早期慢性膵炎は慢性膵炎臨床診断基準2009により診断可能になった比較的新しい疾患概念である。2011年に全国調査が行われ、受療患者数は5,410人と推定されている。2019年に慢性膵炎臨床診断基準が改訂され、早期慢性膵炎の診断基準の見直しも行われたが、改訂が早期慢性膵炎の診断に与えた影響については明らかになっていない。</p> <p>自己免疫性膵炎は2016年1年間の受療患者数は13,436人と推定され、患者数は増加傾向にある。1995年に日本から初めて報告された比較的新しい疾患概念であり、疫学、病態、治療法など、その実態については未だ不明な点が多い。</p> <p>急性膵炎、慢性膵炎、早期慢性膵炎、自己免疫性膵炎の全国調査により得られた知</p>

	<p>見は、本邦の急性膵炎診療ガイドライン、慢性膵炎診療ガイドライン、自己免疫性膵炎診療ガイドラインなどに数多く引用され、本邦の急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎の診療に不可欠なものとなっている。</p> <p>全国の診療施設における急性膵炎、慢性膵炎、早期慢性膵炎、自己免疫性膵炎について、2021年1年間の受療患者数を明らかにする。</p>
提供する試料・情報の項目や種類	2021年1月1日～2021年12月31日に当センターで急性膵炎・慢性膵炎・早期慢性膵炎・自己免疫性膵炎と診断・受療された患者数
外部への試料・情報の提供	郵送・宅配・FAX・電子的配信（e-mail・Web等）
研究組織 （提供する試料・情報を利用する者の範囲）	<p>機関名：東北大学大学院医学系研究科消化器病態学</p> <p>責任者職名・氏名：教授・正宗 淳</p>
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者（等）が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者（等）から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	<p>地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター</p> <p>消化器・内分泌科 萩原 真一郎</p> <p>住所：大阪府和泉市室堂町 840</p> <p>電話：0725-56-1220（代表）</p>